



ちびっこ  
美術館

とうかい村松宿こども園  
加藤木 詩乃ちゃん



親子遠足(ひたちなか海浜公園)

たまごの森で、お友達と遊んだときの絵を描いてくれたのは詩乃ちゃん(5歳)。「大きなトランポリンでこんなに高く跳んだんだよ!」と体を使って教えてくれました。お弁当の真ん丸おにぎりもおいしかったなとうれしそうに話してくれました。

ぼくの夢  
わたしの夢



夢は…。 “動物たちの命を守る仕事”

村松小学校6年 ● 小野珠久

私の夢は、動物たちの命を守る仕事に就くことです。そう思うきっかけになったのは、家族で猫カフェに行ったことでした。

私は猫が大好きで、猫カフェに連れて行ってもらいました。その猫カフェは、「キャットガーディアン」という捨てられたり、飼い主が分からなくなったりした猫たちを保護する団体が活動している場所でした。また、昨年の夏に「とうかい環境フェスタ」で、動物保護団体の方から、日本で毎年約8万匹もの捨て猫が処分されているという話を聞きました。“猫の命が、物のように扱われている”ことに、とてもショックを受けました。

動物の命は、私たち人間と同じ命です。人を元気づけ、一緒に過ごしてきた動物たちを最期までかわいがることが大切だと思います。私は、動物たちの命を守る仕事に就いて、命の大切さを多くの人に伝えていきたいです。

わが家の子育てノート

成宮 さやか

わが家は、夫と私、司(2歳)の3人家族です。

司はもうすぐ3歳になります。2歳半くらいから言葉数が急に増え、話が見る見るうちに上達し、毎日楽しそうに見たものや聞いたことを笑顔で話してくれます。最近は自我も出てきて、何でも「自分でやりたい!」なので大変です。どうしても駄目なことや危ないこと以外は好きなようにさせて、見守るようにしています。また、外遊びが大好きで、晴れた日は公園や広場などで、汗をかきながら元気に走り回っています。

私たち家族は司が生後11か月のころ、夫の転勤で地元を離れ県外から東海村に引っ越してきました。親や友人、知り合いが近くにおらず、土地勘もなかったため、いざ住み始めたものの、司を連れて出歩くのも不安で、しばらくの間は買い物以外、家の中に引きこもっていました。そんな日々も徐々に限界が来て、散歩や公園など少しずつ外に出て、児童センターや長堀すこやかハウスにも遊びに行くようになりました。何度か通ううちに新たな友人ができ、友人や先生方に子育てについて気軽に相談し、情報を得ら

れるようになりました。今では、東海村での生活・育児にすっかり慣れ、不安もだいぶ少なくなりました。

2歳前半のころ、奇声やかんしゃくがひどかった時期があり、精神的にかなり参っていました。いろいろな方々に相談に乗ってもらい、勧めもあって、このころから保育園の一時預かりや子育て支援サービスクラス「すくすく」の保育サポートを利用するようになりました。私自身、休める時間を持つようにしたことで、イライラやストレスも軽減し、それに伴って司も成長してきたのでお互いに落ち着いてきたように思います。

友人や先生方、保健師さん、近所の方々など、今まで多くの方々に支えられ助けられてきました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ、悩むこと、大変なことはありますが気を張りすぎず司との一日一日を大切に、子育てを楽しんでいきたいと思っています。これからも私たちを見守っててください。

